

鼓童 特別公演2018

『道』

浅草公演開催決定！



『血沸き、肉躍る。』

『Heart Beat』

■公演にあたり

本公演『道』は、前身の鬼太鼓座(1971~81)も含め、約半世紀の歳月をかけて継承したものを基調に構成されます。鼓童にとって古典ともいえる舞台のなかから『型』を抽出し、鼓童のDNAを次代に継承します。私達は『道』のような継続性のある公演を通して、新たな創造活動に向けた礎を確かなものにしていきたいと考えます。

私達の奏でる『太鼓』という楽器は、叩けば音が出るというシンプルな楽器です。しかし、その音や響きは、複雑にして多彩、ひとつとして同じにはなりません。打つ人間も当然、身体、年齢、背景など、それぞれの個性を有します。そのような楽器、そして様々な打ち手が日々の鍛錬のなかで奏でる音の表現は、言語の壁を超え、人間の本能を揺さぶり、多様化する社会に与える影響は、可能性に満ちています。

私達は、自然の恵みと豊かな歴史を併せ持つ『佐渡』で舞台を創り出し、日本各地、世界各地に太鼓の音を届け、より多くの人々に共感と共鳴の輪を広げて参ります。

2017年12月 演出 船橋裕一郎



■注目ポイント

今後も唯一無二の芸へと昇華できるよう、その礎となる舞台を本公演にて、作り上げてまいります。

●『古きを学ぶ』

長年演奏されてきた『大太鼓』『屋台囃子』『モノクローム』『三宅』をはじめ、埋もれた曲を掘り起こし『古典』に対する解釈、掘り下げ方を改めて学びたいと考えます。現在のメンバーが、アイデア、アレンジを加え、新たに作曲した『新曲』も織り込み、重厚で華やかな舞台を創ります。

●『用の美』

肚や、姿勢への意識を強化し、太鼓を打つ為に作られた身体、動きを際立たせます。研ぎ澄まされた身体性を活かし、江戸期の職人の象徴的な衣服、半纏、腹掛け、パッチを纏い、最後に六尺の締込み姿で究極の美しさを目指します。

■鼓童 特別公演2018「道」 浅草公演

演出：船橋裕一郎

浅草公会堂 2018年6月20日(水)～24日(日)6回公演

開演	20日(水)	21日(木)	22日(金)	23日(土)	24日(日)
11:00				●	
14:00	●	●	●		●
15:00				●	

※開場は開演の30分前 ※約2時間 途中休憩あり

料金 全席指定7,000円(税込)

一般発売日 2018年 2月3日(土)

国内ツアー予定地：北海道、岩手、宮城、山形、福島、茨城、栃木、群馬、東京、愛知、京都